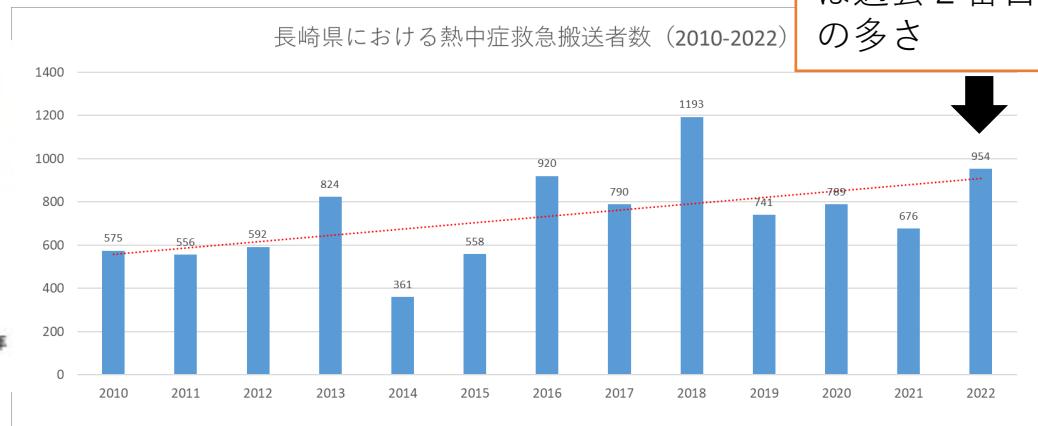
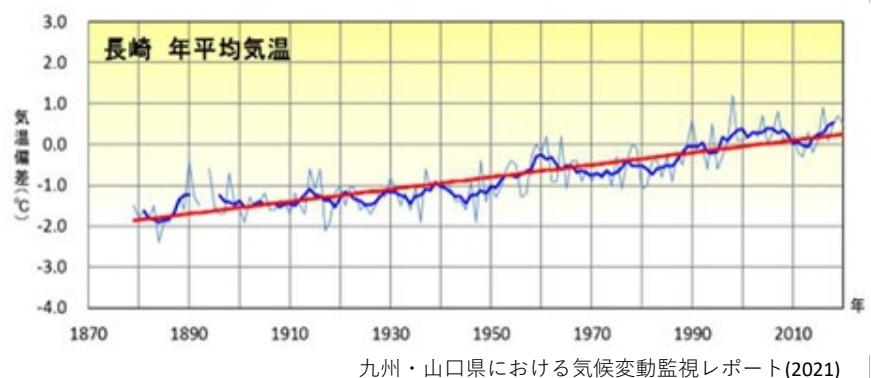


長崎県LCCACの熱中症予防に関する 取り組み状況

R2-R4に実施した研究（背景）

直近のR4年度
は過去2番目
の多さ



全国的に熱中症患者が増加するなか、長崎県においても熱中症救急搬送者数は増加傾向にあり、対策は急務！

長崎県は離島を含め南北に長くまた地形も複雑であるため、場所によって気候が異なることが考えられます。また、地域ごとの人口や年齢層等の分布にも偏りがあることから、熱中症発生のリスクには地域特性があるものと考えられます。

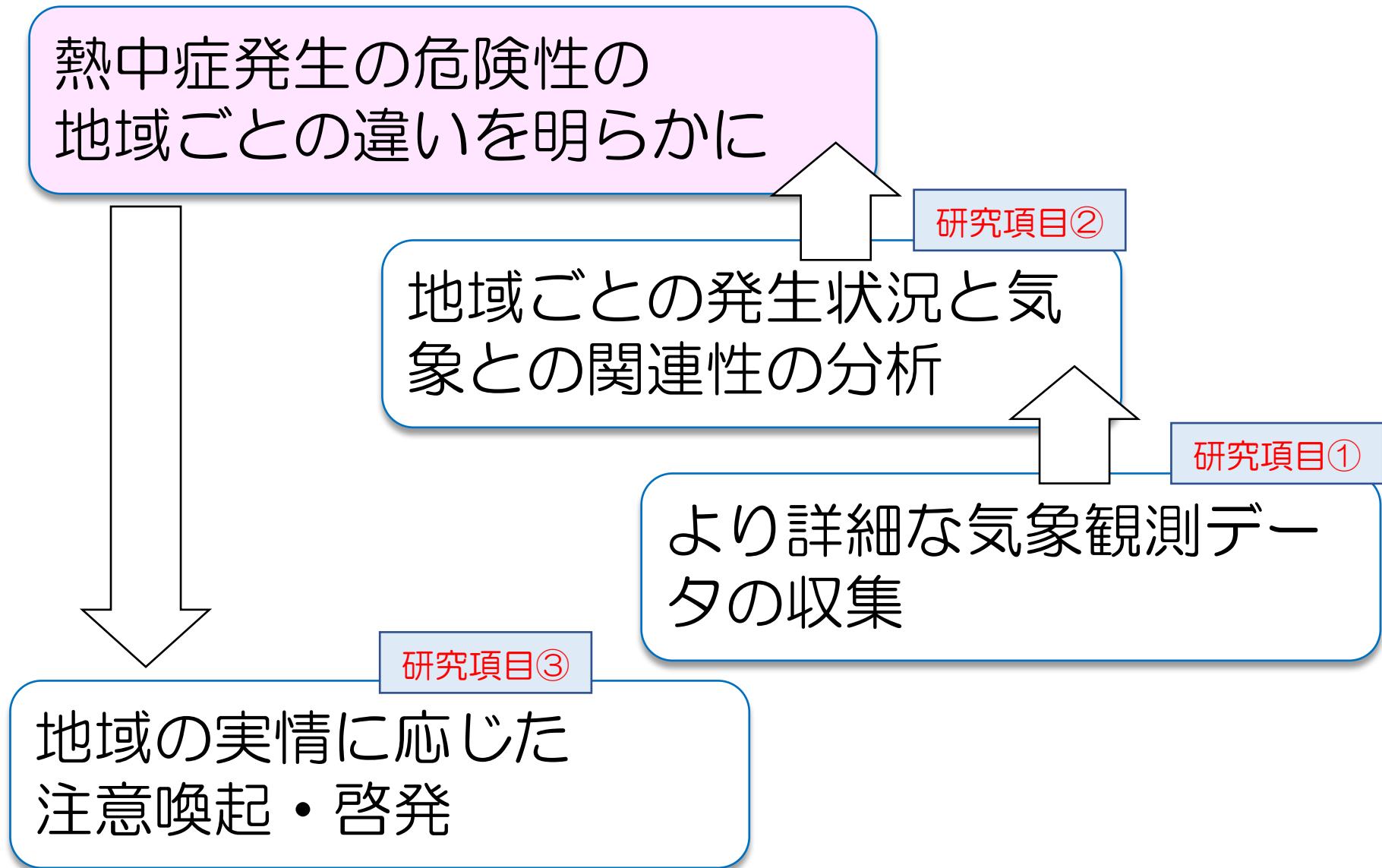


本研究は、詳細な地域ごとの熱中症リスクを調査することで、効果的な熱中症予防に関する啓発を行うことを目的とします。

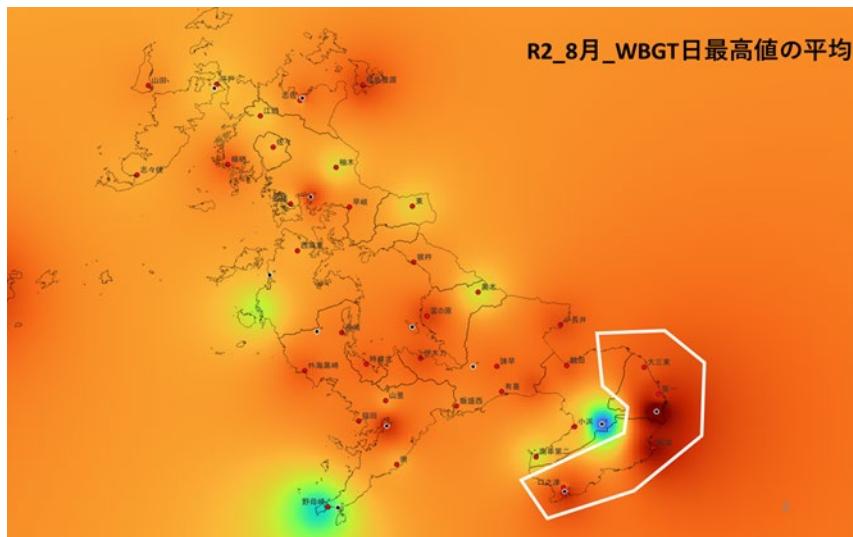
↑ 図中のマークは気象庁観測点（暑さ指数（WBGT）公表地点のみ抜粋）

本研究は地域ごとの熱中症リスクを調査することで、効果的な熱中症予防に関する啓発を行うことを目的としています。県内全域のデータを得るために、小学校の協力のもと気象データの観測を行いました。

研究の概要と研究項目

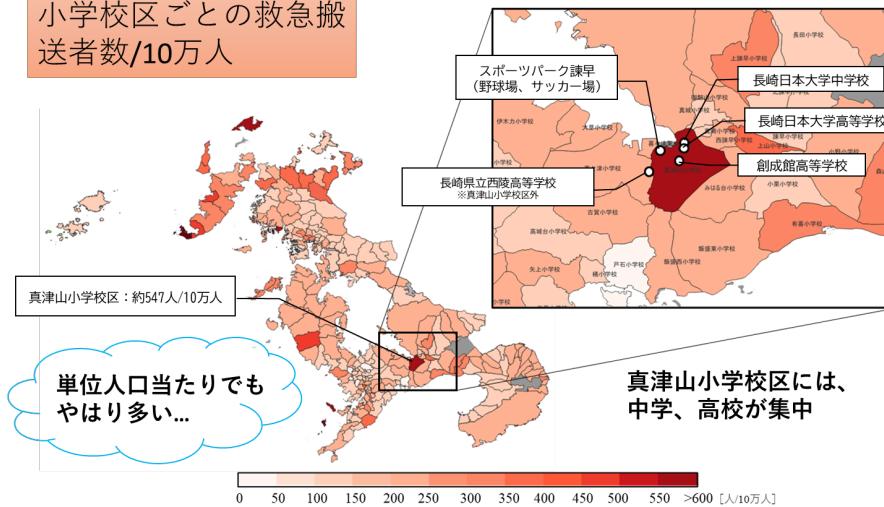


研究成果

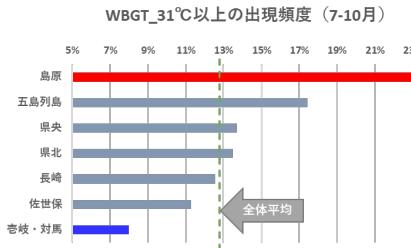


高温となりやすい地域の特定

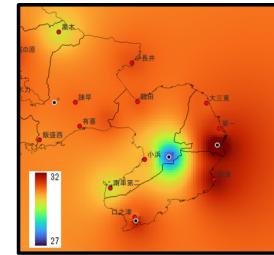
小学校区ごとの救急搬送者数/10万人



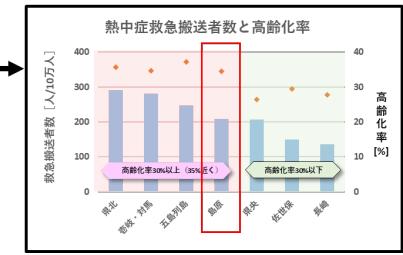
より細かい地域の特徴の解析



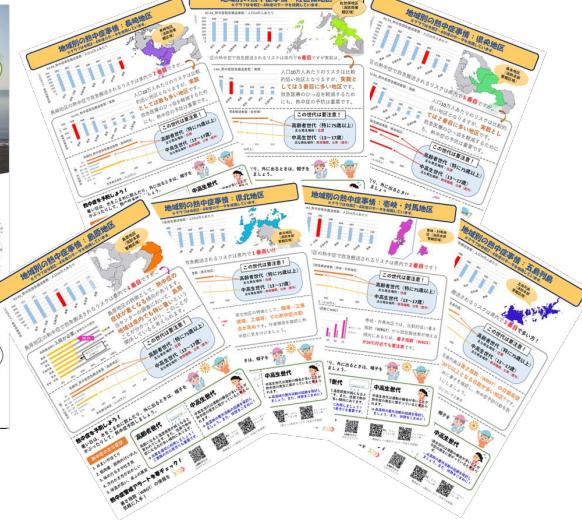
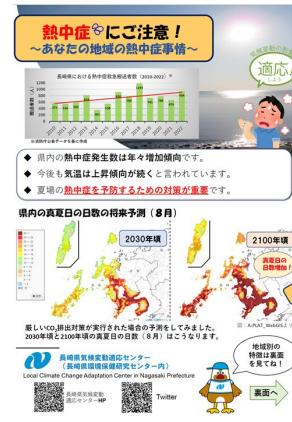
WBGTが31°C以上となった日にちの割合（気象庁公表データを含む）
R2-R4の7月-10月のデータを使用



暑さの割に
救急搬送者
数は控えめ



暑さと救急搬送者数の地域特性の解析



地域別の啓発資料の作成

熱中症予防に関する啓発活動①

島原市・南島原市の熱中症担当部局と連携し、
以下のとおり実施

◆市広報誌へ啓発記事の掲載

広報誌 7月号に研究成果に基づく啓発記事を掲載

◆一般住民を対象とした講演

島原市、南島原市において一般住民
を対象とした講演を実施

島原市 : 6/8に実施

南島原市 : 6/28、9/15、9/20に実施

写真は、あかね会（一人暮らし
高齢者食事会：島原市）における
講演の状況



県教育センターと連携した教員対象の
研修を実施



教員研修の様子 (10/5)

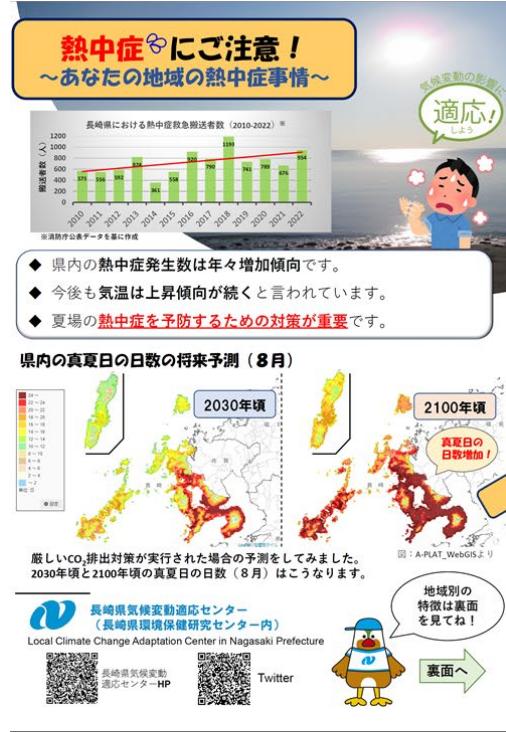
その他：福祉保健部局によるメディアの活用

- ・ラジオ：Saturday chat box (7/8)
- ・テレビ：みじかなナガサキミニ (7/15)

研究成果に基づく
内容をもって啓発

熱中症予防に関する啓発活動②

センターが実施した「熱中症に関する研究（R2-4）」の成果として作成した啓発資料



庁内連携体制の確認 ~LCCACの役割~

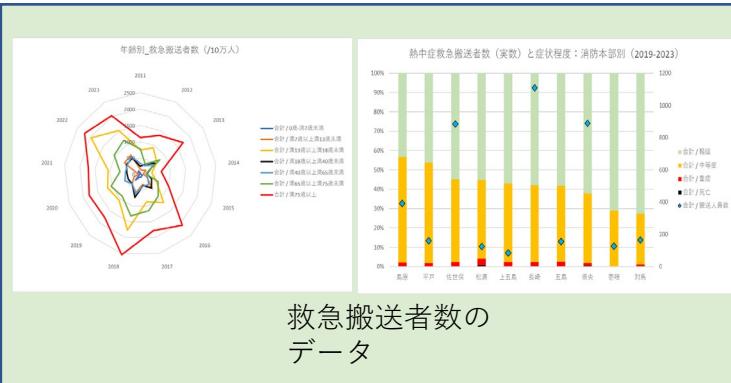
「熱中症予防対策事業庁内連絡会議」
→ 各部局の役割分担を確認



消防・環境省等
からデータ収集



長崎県LCCAC
データの整理・分析



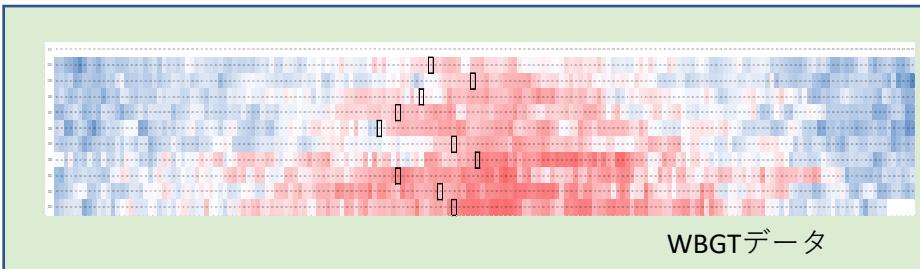
熱中症対策に関するデータ等
を関係部局へ提供



施策、啓発資料へ活用

当センターの役割

- ・データ収集、整理、分析
- ・熱中症対策に関するエビデンスの提供



長崎県_熱中症死亡者数(5年移動平均)



九州沖縄_県別_熱中症死亡者数(/10万人)(H25~R4)

